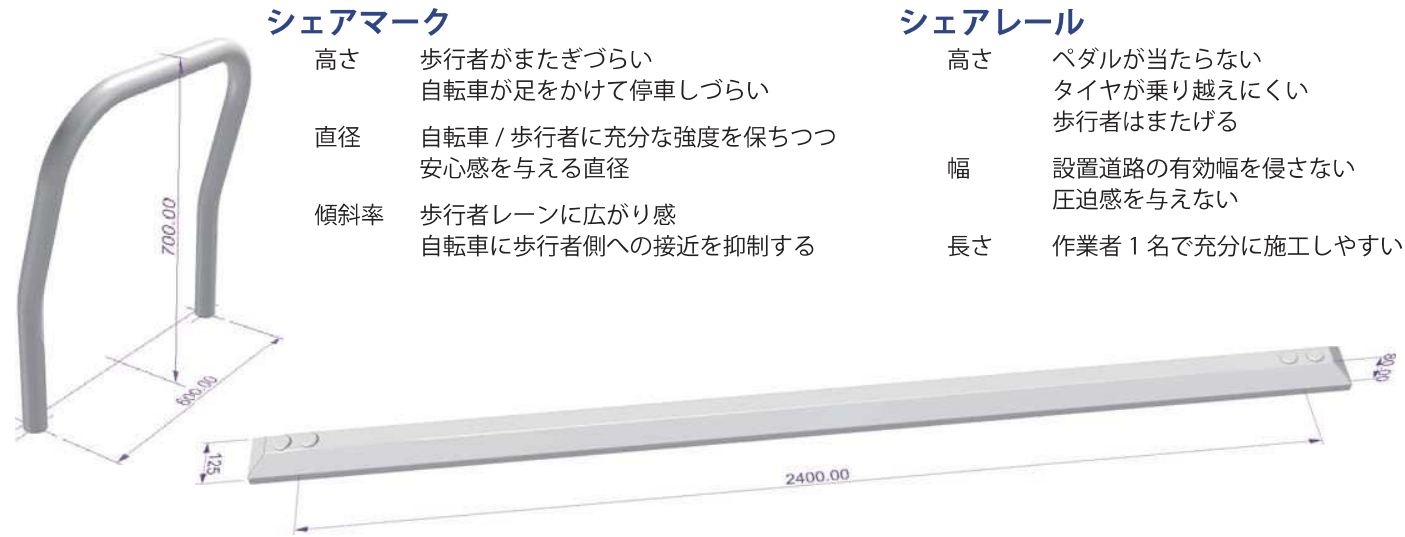


概要寸法

意匠 特許出願中



構成パーツ



シェアマーク (分離柵)



シェアレール (鋼製ブロック)



シェアレール用ブラケット



シェアレール用基礎パーツ



シェアレール用エンドパーツ



分離標示塔 (イメージ)



JFE 建材 株式会社

JFE建材株式会社 (JFE Metal Products&Engineering Inc.)
 〒108-0075 東京都港区港南一丁目2番70号(品川シーズンテラス)
 道路商品営業部 TEL.03(5715)7600 FAX.03(5460)3233

シェアード
shared

みんなに快適な歩道、見つけました



shared シェアード 設置イメージ



自転車レーン側へかした「シェアマーク（分離柵）」は自転車に歩行者側への接近を抑制し、「シェアレール（鋼製ブロック）」は歩行者レーンへの物理的な進入制限機能を備える。

景観に配慮したシンプルな形状で、自転車と歩行者が共存する機能を有する「シェアード」シリーズ。



適正なサイズ
のデザイン

歩行者側から

- ・視認性
- ・つまづきにくい形状
- ・またぐのに困難でない
- ・圧迫感のない空間

自転車側から

- ・ペダル、ハンドルが衝突しにくい形状
- ・衝突時転倒しにくい
- ・近づきにくい心理作用を与える

施工者側から

- ・施工効率が良いサイズ
- ・歩道状況にフレキシブルな設置 / 対応が可能
- ・施工後の脱着が容易

設置バリエーション



シェアマーク+シェアレール（間隔を広く）

上写真のシェアマーク、シェアレール設置間隔だけではなく、間隔にゆとりをもった設置や配置パターンに柔軟に対応可能



シェアレールのみ

自転車が速度を出すための距離が短い状況などはシェアレールによる進入制限機能のみでも有効



シェアマークのみ

シェアマークのみを並べることで、自転車への心理的、物理的なスピード抑止力を維持しつつ、歩行者道への進入制限度を緩めた設置パターンが可能
カーブが続く状況や、交差点周辺、バス停付近に有効



夜間視認性（再帰反射塗装加工）※オプション

見落としによる衝突を防ぐための再帰反射塗装加工の対応も可能

簡単施工



1 シェアレール用基礎パーツ、シェアマーク用さや管を埋設する



2 シェアレールとブラケットを挟みながら仮組みする。



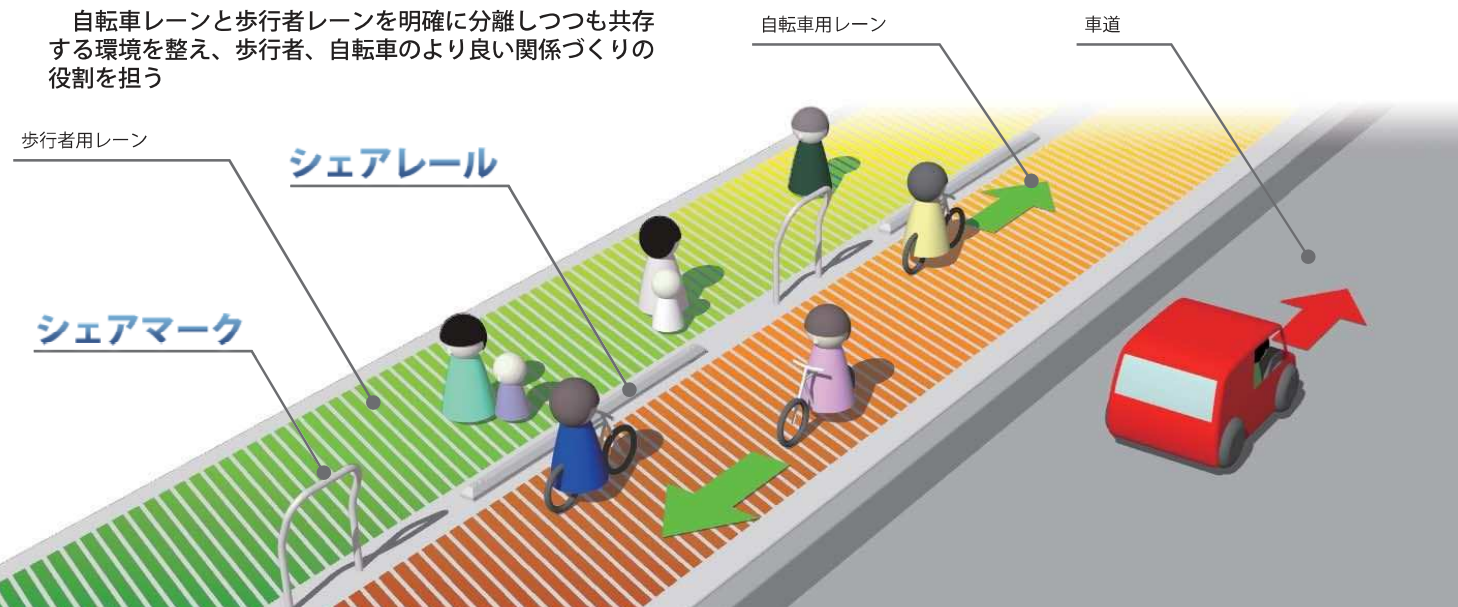
3 取り付けボルトで締めこむ。



4 シェアレールにキャップをし、シェアマークをさや管に入れて完了。

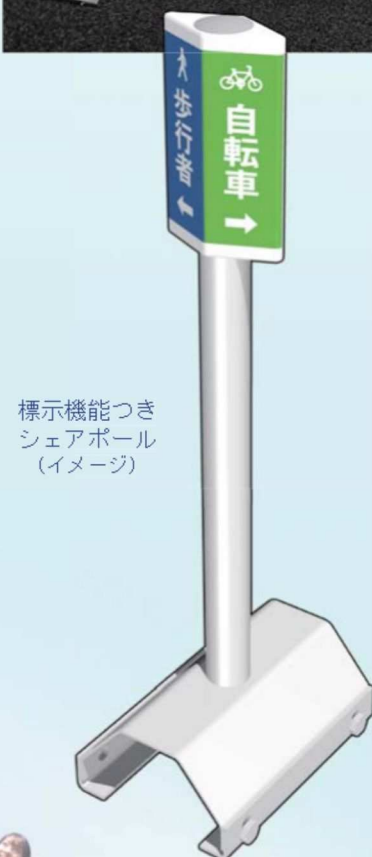
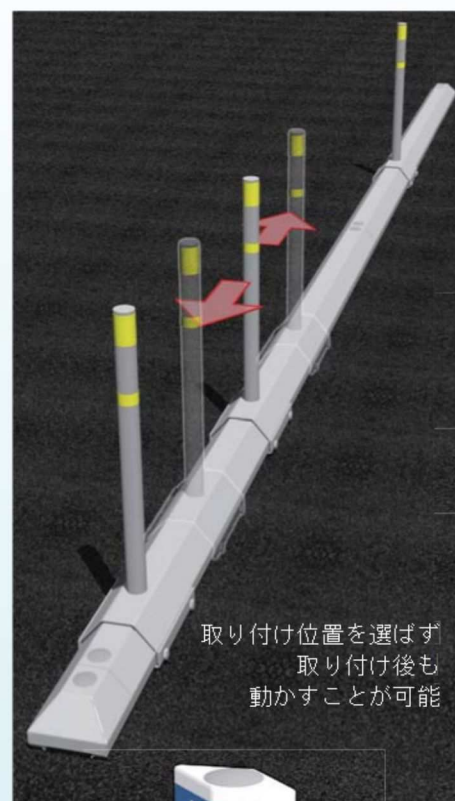
社会的役割

自転車レーンと歩行者レーンを明確に分離しつつも共存する環境を整え、歩行者、自転車のより良い関係づくりの役割を担う



シェアポール(「シェアレール」専用 注意喚起ポール)

意匠特許出願中



注意喚起と
安全性を高める

取り付け後の移動が可能

「シェアレール」の
どこへでも取り付け可能

取り付け、取り外しが簡単

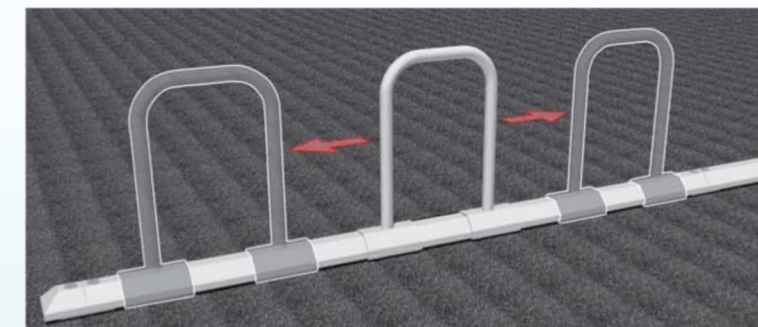
組み合わせで
様々なアレンジができる

ボルトを緩めることで
移動が可能になる

可動シェアマーク(「シェアレール」専用 分離柵)

意匠特許出願中

歩行者と自転車の安全性を高める分離部材である「シェアポール」と「可動シェアマーク」は、「シェアレール（鋼製ブロック）」をベースに自由な位置への取り付けが可能。その後の移動も可能なシェアードシリーズのオプションアイテム。
2つのアイテムの組み合わせも可能なので、道路形状や景観、周囲の状況に合わせた設置が可能です。



「シェアポール」と「可動シェアマーク」景の組み合わせ例

